

WindowsおよびMACでのポートのテスト

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[テストポート](#)

[Windows の場合](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、[Webexコールでサポートされているデバイス](#)が存在する場合のトラブルシューティングのために、TCP SIPトラフィックポートをテストする手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Webex通話環境とアーキテクチャの理解
- [Webexコーリングのポート参照情報を読んだこと](#)
- デバイスレジスタの問題に関する基本的なトラブルシューティング
- Webex通話オファ어의CSCANツール「[Use CScan to Test Webex Calling Network Quality](#)」

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

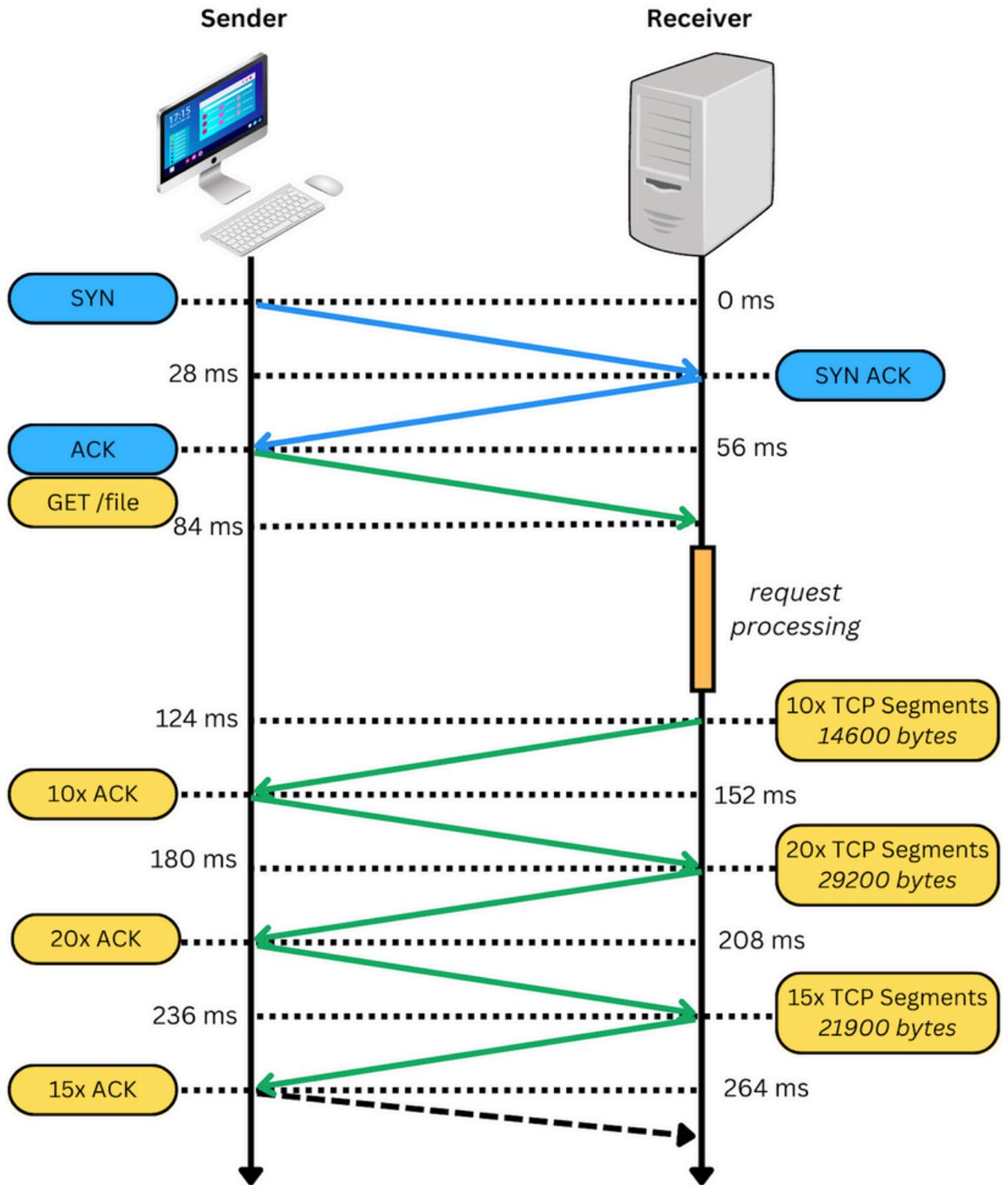
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

このドキュメントでは、Webex Calling Signaling Session Initiation Protocol(SIP)ポートにアクセスできるかどうかをトラブルシューティングしてテストする基本的な方法について説明します。

場合によっては、デバイスが登録に失敗し、Control Hubでofflineまたはissuesステータスが表示されます。

デバイスが登録する必要があるSIPフローかどうかを調査できるように、パケットキャプチャが必要です。

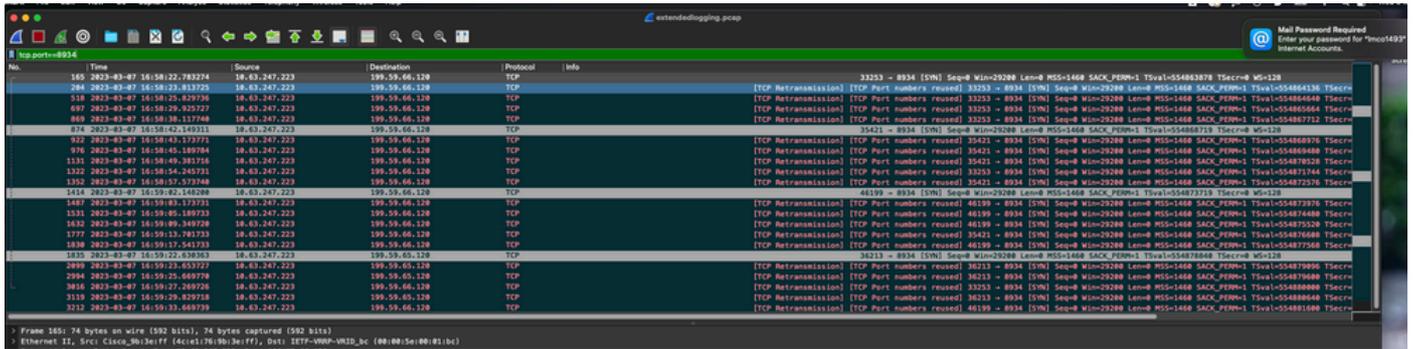


パケットキャプチャが成功すると、次の図のようになります。

No.	Time	Source	Destination	Protocol	Info
318	2023-03-08 17:46:43.463779	10.21.144.144	199.59.66.120	TCP	56959 - 8934 [SYN] Seq=0 Win=65535 Len=0 MSS=1356 WS=64 TSval=2164980443 TSecr=0 SACK_PERM=1
312	2023-03-08 17:46:43.203038	199.59.66.120	10.21.144.144	TCP	8934 - 56959 [SYN, ACK] Seq=0 Ack=1 Win=28948 Len=0 MSS=1208 SACK_PERM=1 TSval=3981894889 TSecr=2164980443 WS=1
313	2023-03-08 17:46:43.283115	10.21.144.144	199.59.66.120	TCP	56959 - 8934 [ACK] Seq=1 Ack=1 Win=32728 Len=0 TSval=2164980503 TSecr=3981894889
314	2023-03-08 17:46:43.285513	10.21.144.144	199.59.66.120	TLSv1.2	Client Hello
316	2023-03-08 17:46:43.329379	199.59.66.120	10.21.144.144	TCP	8934 - 56959 [ACK] Seq=1 Ack=518 Win=38832 Len=0 TSval=3981894958 TSecr=2164980505
318	2023-03-08 17:46:43.331761	199.59.66.120	10.21.144.144	TLSv1.2	Server Hello

赤いボックスは、TCP接続が確立されたことを示します。

次の図に、TCP接続が確立されない場合の例を示します。



ここでは、キャプチャにTCP SYNのみが表示されているため、デバイスはTCP接続を開くことができません。

 **注：**この種の問題が発生した場合は、これがブロックされた理由を調査する必要があります。場合によっては、ファイアウォール側でブロックされますが、さらに調査を行う必要があります。

Windows/MACからのTCP接続を検証するために実行できる手順がいくつかあります。

テストポート

Windows の場合

パワーシェルを開き、次のコマンドを使用します。

```
tnc 10.119.57.136 -p 8934  
tnc 10.119.56.136 -p 8934
```

さらに、 ipconfig 送信元を確認するには、次の手順を実行します。

```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Try the new cross-platform PowerShell https://aka.ms/pscore6

PS C:\Users\...> tnc 85.119.57.136 -p 8934

ComputerName      : 85.119.57.136
RemoteAddress     : 85.119.57.136
RemotePort        : 8934
InterfaceAlias    : Wi-Fi
SourceAddress     : 10.152.200.59
TcpTestSucceeded : True

PS C:\Users\...> tnc 85.119.56.136 -p 8934

ComputerName      : 85.119.56.136
RemoteAddress     : 85.119.56.136
RemotePort        : 8934
InterfaceAlias    : Wi-Fi
SourceAddress     : 10.152.200.59
TcpTestSucceeded : True
```

 注：ここに示すIPアドレスは、Webex Calling Session Border Controller(SBC)です。

ターミナルに移動し、次のコマンドを使用します。

```
nmap -sV -p 8934 10.119.57.136
nmap -sV -p 8934 10.119.56.136
```

さらに、 `ipconfig` 送信元を確認するには、次の手順を実行します。

```
apple -- -bash -- 141x42
[LCURENO-M-5HQZ:~] $ nmap -sV -p 8934 85.119.57.136
Starting Nmap 7.70 ( https://nmap.org ) at 2020-02-20 14:13 CST
Nmap scan report for 85.119.57.136
Host is up (0.094s latency).

PORT      STATE      SERVICE VERSION
8934/tcp  filtered  unknown

Service detection performed. Please report any incorrect results at https://nmap.org/submit/ .
Nmap done: 1 IP address (1 host up) scanned in 1.45 seconds
[LCURENO-M-5HQZ:~] $
[LCURENO-M-5HQZ:~] $
[LCURENO-M-5HQZ:~] $ nmap -sV -p 8934 85.119.56.136
Starting Nmap 7.70 ( https://nmap.org ) at 2020-02-20 14:14 CST
Nmap scan report for 85.119.56.136
Host is up (0.089s latency).

PORT      STATE      SERVICE VERSION
8934/tcp  filtered  unknown

Service detection performed. Please report any incorrect results at https://nmap.org/submit/ .
Nmap done: 1 IP address (1 host up) scanned in 1.40 seconds
[LCURENO-M-5HQZ:~] $
```

関連情報

- [CScanを使用したWebex通話ネットワーク品質のテスト](#)
- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。